

ジヒドロローダミン（DHR）フローサイトメトリー法
（PMA刺激）検査（血液）

患者ID SAMPLE	患者氏名 PATIENT, TEST	生年月日 1974-08-04	性別 M	年齢 50
オーダー番号 SAMPLE	依頼元オーダー番号 SAMPLE	依頼医 SAMPLE	報告書注記 サンプル報告書	
アカウント情報 SAMPLE		採取日時 2024年8月4日 15:02		

DHRフローPMA（血
液）

絶対好中球数

2579 cells/mcL

PMA ox-DHR+ (%)

99.7 %

PMA ox-DHR+ MFI

89.57 MFI

輸送条件対照の絶対好中球数

5987 cells/mcL

輸送条件対照のPMA ox-
DHR+ (%)

100.0 %

輸送条件対照のPMA ox-
DHR+ MFI

78.25 MFI

SDL

解釈

SDL

基準値
1700-7000

SDL

基準値
≥95

SDL

基準値
≥60

SDL

SDL

基準値
≥95

SDL

基準値
≥60

① PMAによる好中球刺激後、輸送条件対照および患者検体のいずれにも正常な好中球酸化バーストを認める。結果は、女性保因者におけるライオナイゼーションの偏りおよびこれに関連するX連鎖性慢性肉芽腫症（CGD）、または常染色体劣性型CGDとは一致しないと考えられる。臨床歴および家族歴との関連確認を推奨。

追加情報

本検査では、ヘパリンナトリウム加血液由来の好中球をPMAまたはfMLPで刺激した後、NADPHオキシダーゼ活性を測定する。PMAまたはfMLP刺激後に酸化バースト（DHR蛍光）を示す好中球の相対割合（%）を算出する。さらに、刺激後の平均蛍光強度（MFI）を算出する。

ミエロペルオキシダーゼ（MPO）欠損（完全欠損型）では、DHR蛍光異常について偽陽性となる場合があるが、DHRフローデータの視覚的および定量的評価（MFI）により、CGDとMPO欠損との鑑別が可能。

受領日時：2024年8月5日 14:57 報告日時：2024年8月5日 15:02

検査室注記

① 分析対象特異的試薬（ASR）：本検査はMayo Clinicが開発し、その性能特性を同施設が決定した。米国食品医薬品局（FDA）による認可または承認を受けていない。

実施施設一覧

コード	検査施設	所在地	検査室責任者	CLIA証明書
SDL	Mayo Clinic Laboratories - ロチェスター・スーペリア・ドライブ	3050 Superior Drive NW, ロチェスター ミネソタ州 55905	ニコラ・バウマン Ph.D.	24D1040592